

# 平成23・24年度 研究方針

## 1 研究主題「生涯にわたって健康でたくましく生きる子どもの育成を目指して」

子どもを取り巻く環境は、ますます複雑化・多様化し、子どもたちの心身の健康に大きな影響を与えています。そして、社会の変化や時代の変化に応じて健康課題も変化しています。それに伴って、養護教諭の役割も多岐にわたり、より専門的な力量を発揮することが期待されています。また、個に応じた健康づくりの支援や学校内や関係機関等とのコーディネーター的役割も求められています。私たち養護教諭はこのような状況をふまえつつ、子ども自らが、健康の大切さに気づき、健康上の課題を改善し自律的な健康づくりができる力の育成を目指します。

本研究会は、各学校それぞれの持つ特性や実情に合わせた養護教諭の教育活動の実践を、支部研究・グループ研究・公募研究を行うことで発展させ、養護教諭が互いに学びあい自身の教育活動に活かせる研究活動を目指します。今までの研究の蓄積を活かし、一層の知識・力量の向上を目指した研究を重ねていきます。

## 2 研究方法

研究は、以下のように行います。

- ・研究は2年以上継続を原則とする。
- ・研究は次の方法で行う。

支部研究：小学校－16支部 中学校－8支部 高校－1支部

グループ研究：総合支援学校

公募研究：研究委員を公募する

- ・支部研究とグループ研究は、それぞれの特性に合わせた研究を進める。
- ・平成23・24年度の公募研究は、「養護教諭が関わる性に関する教育～新学習指導要領に沿った指導のあり方を探る～」について研究を進める。

### <公募研究のテーマ設定理由と研究内容>

近年の急激な社会環境や生活環境の変化を背景として、子どもたちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。知識を確実に身に付けることはもとより、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが必要と考えます。平成23年4月から小学校において新学習指導要領が全面実施される（中学校・高等学校も段階的に実施）中、発達段階を考慮しつつ学校教育全体を通して行う性に関する教育について養護教諭としてどのように関わるのが効果的な指導につながるのかということについて探り、研究テーマに迫りたいと考えています。

## 3 研究のまとめ

支部研究、グループ研究は、それぞれの実情に応じて2年以上の研究も可能です。平成23年度末においては、1年間の研究成果または、2年間以上の（前年度から継続している研究）の研究成果をまとめて研究冊子を作成し、テーマ別研究協議を行います。公募研究は、2年間通じて研究したものを、平成24年度末にまとめて冊子を作成し報告を行います。